

仕組みがわかれば

\\ メールリストの仕組み //

メールリストとは、あらかじめ参加している人同士がメールを利用して情報を交換できるサービスだ。メールリストの最大の特徴は、この複数の人でメールを使って簡単に情報を共有できるという点にある。

通常、複数の相手に同じ内容のメールを送って情報を共有しようとする場合、送り主は情報を共有したい相手全員に同じメールを送信しなければならず、人数が増えれば増えるほど面倒となる。また、メールを受け取った相手が送られてきたメールに対して返信をすると、メールは送り主のみ返信されてしまい、そのメールの情報は共有されない(図1)。

メールリストでは、参加者のメールアドレスはメールリストサーバーに登録されており、参加者がメールリスト宛にメールを送信す

仲間で作る!!!

サークル活動から

飲み会のお知らせまで

パーソナル メール リスト

電子メールやチャット、掲示板、ネットニュースなどインターネットにはさまざまなコミュニケーション手段がある。それらの中でもっとも利用されているのはなんと言っても電子メールだろう。メールリストは、その電子メールを利用して複数の人と簡単に情報交換のできるサービスだ。メールリストというと、テーマに沿った情報交換をする場所と思いがちだが、飲み会や同好会、クラブ活動、サークル活動などグループの連絡に利用することもできる。それならば、もっとパーソナルなメールリストを自分たちで作ってみてはどうだろうか。

インターネットマガジン編集部



応用もできる。

るとそのメーリングリストに参加している人すべてにメールが配信される仕組みになっている。そのため、メールの発信者はメーリングリストに参加している人のメールアドレスを覚えていなくても全員にメールを送ることができる。新規にメーリングリストに参加した人やメーリングリストから脱退した人、メールアドレスを変更した人などがいてもメーリングリストサーバーに登録されている情報を修正するだけで済むために、メールを送信する人は参加者の変更などを気にする必要がない。また、送られてきたメールに対して返信をすると、宛先はメーリングリストとなり、返信のメールも全員に配信されるため、簡単に参加者同士で情報を共有できる(図2)。これは、メーリングリスト宛にメールを送信すると、メーリングリストサーバーは送られてきたメールのヘッダーをメーリングリスト宛に返信されるように書き換えてからメーリングリストの参加

者に配信しているからだ。ほかにも、メーリングリストサーバーでは、送られてきたメールのサブジェクトにメーリングリスト名や連番を付け加えたりしている。これは、どのメーリングリストから送られてきた何通目のメールかをわかりやすくするためだ。

メーリングリストはメールを活用したコミュニケーションなので、特別なアプリケーションを必要としない。そのため、参加者はどのようなプラットフォームを利用していても問題なく、電子メールソフトさえあれば簡単に参加できるというのも利点だろう。

「仲間で使う」が新しい

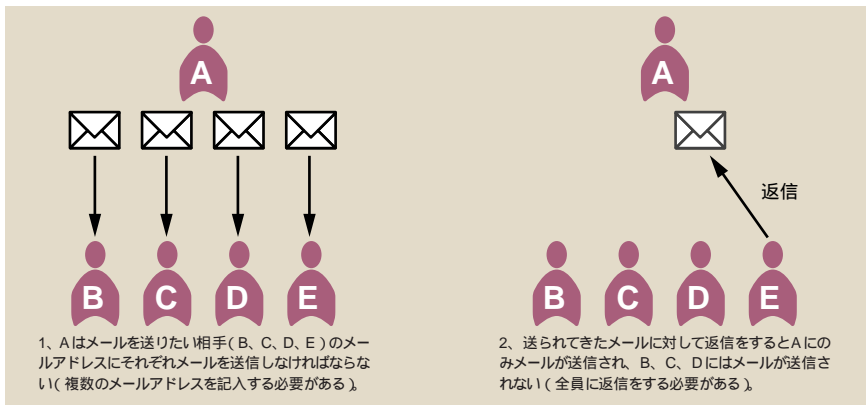
メーリングリストには、ほんの数人の小さなものから何千もの人が参加している大規模なものまであり、そこでは共通の趣味や話題を持った人たちが集まって議論や情報交換が行われている。交わされるメールの数もメーリングリストによってさまざまで、活発なメーリングリストでは1日に数百通ものメールがやり取りされている。

メーリングリストがどのようなものであるのかは、実際に参加してみると一番わかりやすいだろう。

メーリングリストは参加するものだと思いがちだが、自分でメーリングリストを開設して、OB会や飲み会、同好会、クラブ活動、サークル活動など、自分の参加しているグループの連絡手段として利用することもできる。メーリングリストは、電話のように一対一のコミュニケーションではなく、手紙のような情報が発信者側から送られてくるだけの一方通行の連絡手段でもない。すべての参加者が情報を発信できる双方向のコミュニケーションメディアなので、グループの連絡手段としては最適と言えるだろう。今後ますますインターネットが普及し、メールアドレスを持っている人が増えてくると、今まで電話や手紙などを利用していたそれらのグループの連絡手段が、すべてメーリングリストに置き換わるといった時代がやってくるかもしれない。

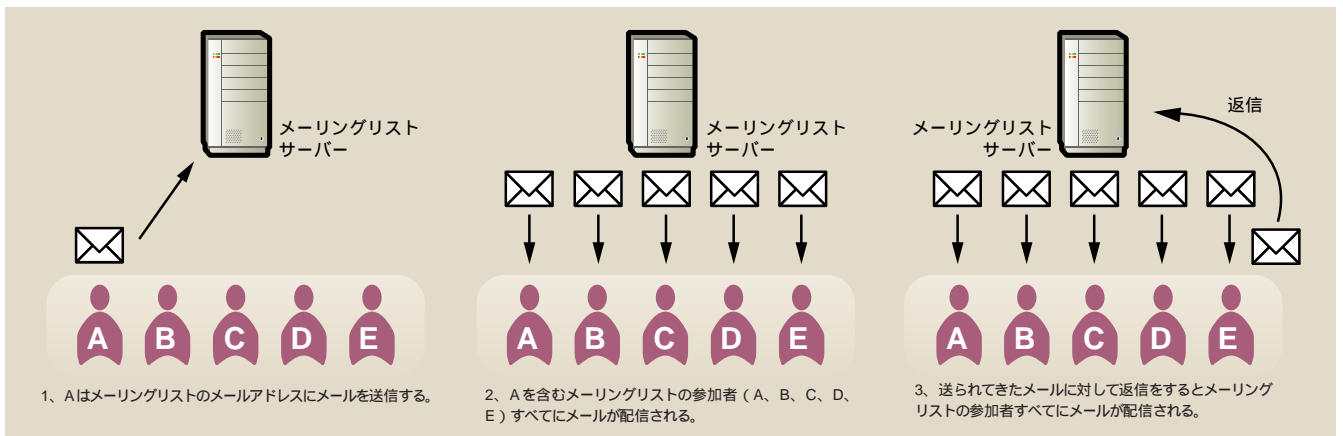
メーリングリスト開設サービスを使って、親しい仲間内で利用するメーリングリストを作ってみよう。

図1 通常のメールを複数の相手に送信する場合



画面1 Yahoo!で「メーリングリスト」と検索すると、ジャンル別に数多くのメーリングリストが表示される。

図2 メーリングリストの場合



安く、簡単にメーリングリストを作りたい

メーリングリストの開設は 難しくない

メーリングリストを開設するには、メーリングリストサーバーを設置しなければならず、ダイヤルアップ接続ではできないかと思ってしまうかもしれないが、プロバイダーが提供するメーリングリストサービスを利用すればダイヤルアップユーザーでもメーリングリストを開設できる。加入しているプロバイダーがメーリングリスト開設サービスを行っているかどうかを調べてみて、サービスを行っているならば、それに申し込むのが一番簡単だろう。プロバイダーがメーリングリスト開設サービスを行っていない場合は、メーリングリストの開設サービスだけを利用できるプロバイダーを使えばいいだろう。また、無料でメーリングリストが開設できるサービスを提供しているところもあるので、それらを利用すればすぐにメーリングリストを開設することができる(表1)。無料でメーリングリストが開設できるサービスは

広告収入によって運営されているため、メールの本文に数行の広告が入ったり、メーリングリストのメンバー宛にダイレクトメールが届いたりするが、それが特に気にならないならば便利なサービスだ(画面2)。ただし、無料メーリングリストサービスは広告収入で営業している関係上、開設できるのは誰もが自由に参加できるオープンなメーリングリストのみといった制限があるところが多く、限られたメンバーだけのクローズドなパーソナルメーリングリストは開設できないことがある。

メーリングリストサービスは、参加できる人数や1日に配送できるメールの数、メールを保存できる容量、サポート体制などによって料金はさまざまなので、目的や規模に応じて最適なサービスを提供しているプロバイダーに申し込もう。また、メーリングリストを運用する前に、どのようなサービスを提供しているかを試用期間を設けて体験できるところもあるので、実際に利用してみて使いやすいメーリングリストを選ぶのも

いいだろう。

メーリングリストの開設申し込みは、ホームページからオンラインで申し込みができるものがほとんどで、開設者(管理者)の連絡先や開設したいメーリングリスト名、料金の支払方法などを登録するだけですぐに利用できる。メーリングリストサービスを利用すれば、面倒なサーバー管理などの専門知識は必要ない。

しかし、メーリングリストの管理者は、メーリングリストの参加メンバーの面倒を見なければならぬので、メンバーを募集する前にメーリングリストを管理するための使い方を覚える必要がある。メーリングリストはメールを投稿するためのメールアドレスと、メーリングリストを管理するコマンドを送信するための管理用メールアドレスの2つがあり、管理用のメールアドレスにコマンドを記入したメールを送ることによって、メンバーの参加や脱退の処理、参加メンバーの一覧リストなどを取り寄せることができる。

表1 無料で利用できる主なメーリングリストサービス一覧

| サービス会社名 | URL | 初期費用 | 利用料金 | 参加人数 | 備考 |
|-------------------------|---------------------------|------|------|------|------------------|
| TAM インターネットサービス | http://ml.tam.ne.jp/ | 無料 | 無料 | 500 | メールサイズ20Kバイトまで |
| KNOWLEDGE DIRECT | http://kd.iws.ne.jp/ | 無料 | 無料 | 30 | 有料サービスもあり |
| List.Net | http://www.list.ne.jp/ | 無料 | 無料 | - | - |
| COSMO21-NET | http://www.cosmo21.net/ | 無料 | 無料 | 500 | メールサイズ20Kバイトまで |
| FREE ML | http://www.ml.nnf.ne.jp/ | 無料 | 無料 | - | メールサイズ40Kバイトまで |
| Rave Communications | http://www.rave.ne.jp/ | 無料 | 無料 | 無制限 | メールサイズ20Kバイトまで |
| Digital Network Service | http://www.dns-ml.co.jp/ | 630円 | 無料 | 1500 | 初回に開設料として630円が必要 |
| ココデ・メール | http://mail.cocode.ne.jp/ | 無料 | 無料 | - | - |

これらの無料メーリングリストサービスのなかには、会員の募集を一時的に休止しているところもある。個々のサービスにおけるメーリングリストの開設条件など詳しい情報に関しては、ホームページにアクセスして確認してほしい。

表2 主な有料メーリングリストサービス一覧

| サービス会社名 | URL | 初期費用 | 利用料金 | 参加人数 | 備考 |
|--------------------------|--------------------------|--------|--------------|------|------------------|
| 4649.ねっと | http://4649.net/ | 無料 | 3,600円 / 3か月 | - | 過去メール閲覧可能 |
| さくらインターネット | http://www.sakura.ad.jp/ | 無料 | 2,000円 / 半年 | 無制限 | 過去メール閲覧可能 |
| cup.com | http://www.cup.com/ | 5,250円 | 5,250円 / 半年 | 500 | ホームページで過去メール閲覧可能 |
| サークルネット | http://www.circle.ne.jp/ | 5,000円 | 500円 / 1か月 | 500 | ホームページで過去メール閲覧可能 |
| Universal Domein Network | http://www.udn.ne.jp/ | 1,000円 | 2,000円 / 年 | 50 | オプションで過去メール閲覧可能 |
| CLALA ONLINE | http://www.clara.co.jp/ | 5,000円 | 10,000円 / 年 | 500 | 過去メール閲覧可能 |
| Air Internet Service | http://www.air.ne.jp/ | 2,000円 | 1,000円 / 月 | 1000 | 過去メール閲覧可能 |
| IJ Media Communications | http://www.ij-mc.co.jp/ | 5,000円 | 10,000円 / 年 | 1000 | ホームページで過去メール閲覧可能 |
| nmrpro.net | http://www.nmrpro.net/ | 1,000円 | 500円 / 月 | - | - |

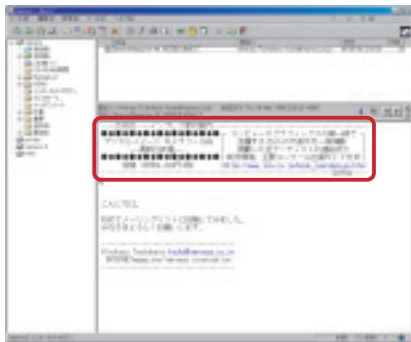
この表に掲載したものはそれぞれ最小規模のコースを選択した場合。これ以外にも料金体系があるメーリングリストサービスもあるので、詳しくはホームページにアクセスして確認してほしい。

目的に合ったメーリングリストサービスを選ぶ

メーリングリストの開設サービスを行っているプロバイダーは多いが、会社によって料金もサービス内容もまちまちだ。メーリングリストを開設するには、次の点に注意して、目的に合った最良のメーリングリストサービスを選択しよう。

① メーリングリストの用途

メーリングリストサービスを選ぶうえで、まず初めに考えなくてはならないのは、そのメーリングリストの用途だ。誰もが参加できる公開型のメーリングリストなのか、仲間内だけの非公開のメーリングリストなのかによって選択するサービスが変わってくる。例えば、無料のメーリングリストサービスの多くは広告収入によって運営されているため、誰でも参加できるオープンなメーリングリストしか運営できないことが多い。仲間内だけのメーリングリストを作りたい場合に



画面2 無料のメーリングリストサービスでは、メールの本文に上のような広告が入るものが多い。



画面3 メーリングリストの設定ファイルの例。このファイルをエディターなどで書き換え、メーリングリストサーバーに送ってメーリングリストの設定を行う。

は、非公開の設定ができるかどうかを確認する必要がある。

② 管理や操作は簡単か

通常、メーリングリストの管理をする場合、メーリングリストサーバーにコマンドを書いたメールを送って操作しなければならないが、ホームページから設定を変更したり管理したりできるサービスを提供しているところもある。メーリングリストの管理に慣れていない場合は、そのようなサービスを提供しているところを選択するといいだろう。また、メーリングリストに参加するユーザーの多くが初心者で、メーリングリストに慣れていないといった場合にも、ホームページから簡単に参加や脱退ができるサービスを利用するのがいいだろう(画面3、4)。

③ 参加人数やメールの流通量

メーリングリストサービスによって、メーリングリストに参加できる最大人数はさまざまだ。通常、人数制限はゆとりをもって設定されている。ほとんどの場合は問題にならないだろうが、大規模なメーリングリストを運営しようとする場合には注意が必要だ。また、メールのサイズや1日に配信できるメールの数に制限があったり、添付ファイルを禁止していたりするメーリングリストサービスもある。広く公開するメーリングリストならば、添付ファイルやHTMLメールなどは利用しないだろうが、仲間内で利用するメーリングリストでは、メールにファイルを添付して送信したり、HTMLメールを送ったりしたい場合も



画面4 ホームページでメーリングリストの設定ができるサービスの例。設定ファイルを書き換えるよりも簡単で、設定した内容がわかりやすい。

あるだろう。メーリングリストの参加人数ややり取りするメールの量を考慮してメーリングリストサービスを選択しよう。

④ 過去のメールを保存できるか

メーリングリストサービスのなかには、過去のメールをメーリングリストサーバーが保存しており、途中から参加したユーザーなどがそれまでにメーリングリストで行われた発言を取り寄せられるところもある。また、サーバーで保存しているメールをホームページから参照できるサービスを行っているところもある。これらのサービスが必要かどうか考慮する必要があるだろう。なお、無料のメーリングリストサービスにはこの機能がないものが多い(画面5)。

⑤ 料金

メーリングリストの利用料金は参加できる人数やサーバーがメールを保存できる容量、付加サービスなどによって無料のものから高価なものまでさまざまだ。当然ながら、大規模で高機能なメーリングリストサービスほど料金は高い。必要な機能と参加できる人数、そして自分の財布と相談して納得できる料金のサービスを選択しよう。

とにかく費用を安く上げたい場合には、無料のサービスを利用するのが一番だが、無料のサービスでは、メールに広告が入ったり、参加者にダイレクトメールが送られてきたりする。その点が気にならないようであれば無料のサービスを利用するのもいいだろう。



画面5 ホームページから過去のメールが参照できるメーリングリストサービスもある。

メーリングリストを開設してみよう

ナレッジダイレクト

富士通ビジネスシステムが提供している「ナレッジダイレクト」では、無料でメーリングリストを開設できるサービスを行っている。無料のメーリングリストサービスとしては珍しく、仲間内だけの非公開メーリングリストを開設することもできる。ただし、1つのメーリングリストに参加できる人数は30人までとなっている。メーリングリストを開設するにはナレッジダイレクトの会員となる必要があり、メーリングリストのメッセージの本文にはナレッジダイレクトからのお知らせが入る。それらが特に気にならなければ、開設が簡単でおすすめの無料メーリングリストサービスだ。

メーリングリストの開設



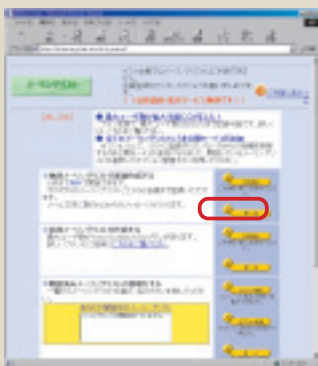
1 ナレッジダイレクトで無料メーリングリストを開設するには、ホームページ (<http://kd.iws.ne.jp/>) にアクセスして会員登録（無料）をする必要がある。



2 会員登録には氏名や住所、メールアドレスなどの個人情報を提供する必要があるため、会員規約をよく読んで納得できたら会員になろう。



3 会員登録が完了すると、入力したメールアドレスに確認のメールが届く。その後、ホームページに戻って「メーリングリスト」を選択する。



4 メーリングリスト利用規約をよく読んでから、「開設」ボタンをクリックして、新規にメーリングリストを開設する。

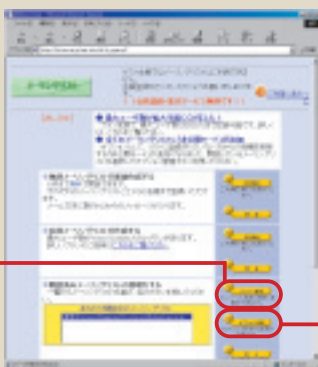


5 開設したいメーリングリスト名やメーリングリストのアドレスを入力して、「開設」ボタンをクリックする。以上でメーリングリストの開設は終了だ。すぐにメーリングリストを利用できる。

メーリングリストの設定・管理



メンバーの登録
メンバーの登録や削除はメーリングリストを開設した管理者のみが設定できる。



ナレッジダイレクトのメーリングリストは、メンバーの登録や削除、設定などをすべてホームページから設定をする。



オプション管理
メーリングリストの参加者以外の人からのメールの投稿を受け付けるかどうかを設定できる。パーソナルメーリングリストにするなら「受け付けない」を設定しておこう。

ホプムインターネット

ホプムインターネットの運営するCup.com (http://www.cup.com/)ではメーリングリストやパーソナルメールアドレスなど、メールに特化した各種のサービスを提供している。Cup.comでメーリングリストを開設するには、初期費用の5250円と年間利用料の5250円がかかるため、多少高いと感じる人もいるかもしれない。しかし、ホームページからメーリングリストの設定ができたり、過去に投稿されたメールがホームページで参照できたりと、機能が豊富で管理しやすい。とにかく簡単に、高機能なメーリングリストを開設したいといった人におすすめのサービスだ。

メーリングリスト開設手順



1 Cup.com (http://www.cup.com/)では、ホームページから申し込んですぐにメーリングリストが開設できる。まず、トップページから「メーリングリスト作成サービス」を選択しよう。



2 メーリングリストの機能や利用料金が表示されるので、確認の後、ページの最後にある「オンライン登録フォーム」をクリックする。



3 料金体系により2種類のコースがあるので、利用したいコースを選択しよう。



4 氏名やメールアドレス、住所などを記入し、「申し込み」ボタンをクリックするだけで申し込みは完了だ。

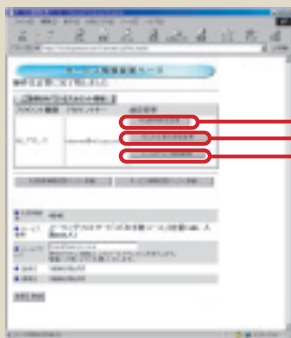


5 申し込み後は、「サービスの設定照会や変更を行う」のボタンをクリックして、メーリングリストの設定をしよう。



6 「アカウントの新規登録を行う」の欄に希望のメーリングリストのアドレスを入力しよう。あとは「サービス情報変更ページ」で利用しやすいように設定を変更すれば準備は完了だ。

メーリングリストの設定・管理



サービス情報変更ページ
通常のメーリングリストサービスでは、設定を変更する場合、コマンドを書いたメールをメーリングリストサーバーに送らなければならないので面倒だが、Cup.comではサービス情報変更ページから設定が変更できるようになっている。



メールアドレスの追加削除
メーリングリストの管理者を設定したり、メンバーの追加や削除ができる。まず管理者を設定しよう。



MLWeb表示設定変更
メーリングリストに投稿された過去のメールをホームページで参照したい場合に設定をする。



ML動作設定変更
メーリングリストを運営するうえで一番重要な、メンバーの登録方法やメールを投稿できる人の設定などがいつでも簡単に変更できるようになっている。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp